

浜中町八本木宿

重要伝統的建造物群保存地区



酒蔵通り ©田村収

浜川左岸に広がる町並みで、通称「酒蔵通り」と呼ばれます。江戸～昭和初期にかけて、酒造などの醸造業を中心に発展し、大型の酒蔵や武家屋敷、洋風建築など多彩な建物が、変化ある町並みを形成しています。



©大塚絨雅



継場 国 見学無料

江戸時代の建物で、長崎街道の宿場間の人馬や荷物等を中継する拠点でした。馬をつないだ鉄輪や帳場が残っています。現在は観光案内所として肥前浜宿散策の拠点となっています。10:00～17:00(火曜日休館)



旧魚市場

昭和39年まで魚市場として、有明海から水揚げされた魚の売り買いがされ、にぎわっていました。正面には「魚市場」のこて絵があり、恵比寿様が祀られています。



中島酒造場 国 県 0954-62-2605

浜町で最も古い酒蔵のひとつ。主屋、西蔵、仕込蔵、麹室は明治時代、離座敷は天保7年(1836)の建築であり、国の登録有形文化財と佐賀県遺産に登録されています。銘柄は「君恩」で現在は酒の小売のみ。

呉竹酒造 国 0954-63-2291

主屋と東蔵は昭和初期、一番蔵は明治時代の建築で、樺など各地の名材を用いた国の登録有形文化財となっています。銘柄は「呉竹」で、現在は酒の小売のみ。東蔵はコンサート等肥前浜宿のまちづくり拠点として活用されています。

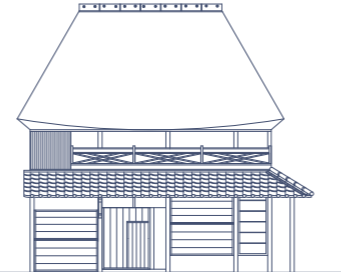
肥前浜宿ってどんなところ？

有明海を臨む浜川河口の町として栄え、江戸時代は長崎街道多良往還(多良海道)の宿場町として豊かな町並みがつくられました。2つの重要伝統的建造物群保存地区で形成されており、それぞれ特徴のある町並みを散策できます。



居蔵造町家

浜中町八本木宿の代表的な建築様式です。持送り、海鼠壁、鉄扉を有し、軒裏や破風を白漆喰仕上げの大壁で塗り込めた、住居と蔵(店)が一体になった建物です。



茅葺町家

浜庄津町浜金屋町の代表的な建築様式です。棟が「コ」の字や「ユ」の字型をしており、くど(かまど)の形をしていることから「くど造」と呼ばれています。佐賀平野によく見られる家屋構造です。



1 庇 2 反り壁 3 摺り上げ戸 4 水路 5 こて絵 6 持送り ©大塚絨雅

肥前浜宿の醸造業



富久千代酒造 国 0954-62-3727

創業は大正末期とされ、麹室、一号蔵、旧精米所は国の登録有形文化財となっています。IMCでチャンピオンSAKEを受賞し、酒蔵ツーリズムの契機となった主要銘柄「鍋島」を製造する酒蔵です。



観光酒蔵肥前屋 0954-63-2468

大正3年(1914)の創業で、主屋は昭和5年(1930)の建築であることがわかっています。主要銘柄「肥前浜宿」「菊王将」等を製造し、一年を通して無料で酒蔵見学、試飲ができる観光酒蔵です。9:00～17:00(年末年始・お盆は休業)



光武酒造場 県 0954-62-3033

主屋は明治14年(1881)の建築で佐賀県遺産に登録されています。主要銘柄「金波」のほか、焼酎「魔界への誘い」等を製造する酒蔵です。新酒ができたことを知らせる昔ながらの杉玉も見所のひとつ。



山口醤油醸造場 0954-62-2883

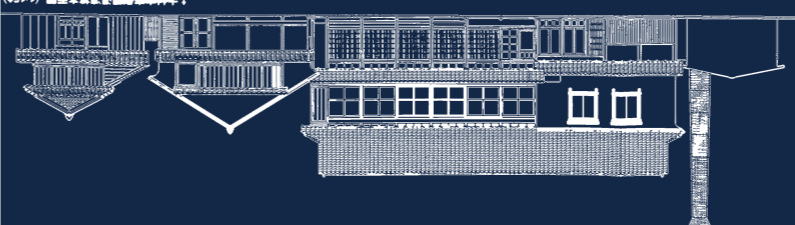
酒蔵通りに多く見られる居蔵造町家の中でも、古いものの一つ。軒先の反り壁と海鼠(なまこ)壁に特徴がある建物。通りかかると、醤油のよい香りが漂ってきます。

酒蔵まつり

世界一の酒をはぐくんだまち鹿島市。鹿島は古くから酒造りが盛んな土地柄です。現在も5軒の造り酒屋があり、豊かな自然に育まれたおいしい水と米、そして蔵人の手によって良質な酒が醸されています。毎年3月末には、市内5蔵の同時蔵開きに合わせ、「花と酒まつり」などの多彩なイベントが開催されます。



肥前浜宿



肥前浜宿
HAMASHUKU
肥前浜宿



- [info-data]**
- 連絡先 (市外局番 0954)
 - 祐徳バス 62-4595
 - 祐徳自動車 63-3111
 - 再耕庵タクシー 62-2171
 - 肥前鹿島駅 62-2326
 - 鹿島市観光協会 60-5145
 - 道の駅鹿島 63-1768

鹿島市 鹿島市都市計画課 佐賀県鹿島市大字納富分2643-1
TEL 0954-63-3414 (直通) FAX 0954-63-2129 (代表)

NPO法人肥前浜宿水とまちなみの会 佐賀県鹿島市浜町(肥前浜駅観光案内所内)
TEL 0954-69-8004 FAX 0954-69-8022

https://www.city.saga-kashima.lg.jp/ 【令和7年1月】

浜庄津町浜金屋町

重要伝統的建造物群保存地区



南舟津の茅葺3棟 ©田村収

浜川右岸に広がる町並みです。江戸時代から商人や船乗り、鍛冶屋や大工が暮らし、にぎわっていました。細い路地沿いに、茅葺きや棧瓦葺きの小型の町家が密集した町並みが特徴です。



旧筒井家・旧橋本家



夷三郎の祠

元菓子屋であった旧橋本家と、隣の旧筒井家の茅葺町家です。表には跳ね上げの大戸と摺り上げ戸を有し、土間でつながった外部と室内の連続性が見所です。

古い恵比寿像の中には、文字だけを彫った「文字恵比寿」というものが存在します。この恵比寿は「夷三郎」とだけ彫っており、佐賀県内でも最も古い恵比寿像のひとつだと言われています。

肥前浜宿 周辺部の見所

泰智寺 県市
鹿島藩初代藩主が、先立つ夫人を弔うため1623年に建てられた曹洞宗の寺院で、鹿島藩の菩提寺のひとつ。市重要文化財の木造頂相像と木造羅漢像16体が安置されています。

臥竜ヶ岡公園(事比羅神社)
浜川の河口を見下ろす高台に設けられ、古くは臥竜城と呼ばれる城跡でもありました。現在、公園が整備され、約150本の桜をゆっくり楽しむことができます。

浜川
肥前浜宿の2つの重要伝統的建造物群保存地区の間を流れる浜川には大小さまざまな石段が設けられており、水の流れに触れ合うことができます。

若宮神社
7月の祇園祭の際には、面浮立や獅子舞が奉納されます。この辺りは、スペインのキリスト教団であるドミニコ会が肥前国で最初に教会を建てた場所とも言われています。

JR肥前浜駅
昭和5年、現在のJR長崎本線の肥前山口駅～肥前浜駅間の開通に合わせて開設されました。現在も駅舎の一部が当時のまま残っています。(観光案内所)

祐徳稲荷神社
日本三大稲荷に数えられ、年間300万人もの参拝客でにぎわいます。創建は1687年で、商売繁盛・家運繁栄などの御利益で知られています。総漆塗り極彩色の壮麗な社殿は、鎮西日光とも称されます。